

東桂保育園の地域連携・交流

東桂保育園

自然の中で大学生と子ども達との交流

1. 目的と経緯

平成24年から都留文科大学教養学部地域社会学科の環境教育実習を『森のようちえん指導者養成講座』として高田先生の指導のもと参加しました。今年度からは秦先生に引き継がれ学生と子ども達と一緒に楽しく活動を続けています。都留市は自然に恵まれていますが、子ども達の遊びが変化して自然の中で遊ぶ経験が少なくなっていました。特に幼児期・児童期においては、自然との触れ合いの体験を多く持つことは子どもの感受性を刺激し、様々な不思議や発見の中から好奇心を育て、創造力の育成に繋がってゆく良い経験です。自然の中のびのびと心も体も大きく育ててほしいと願っています。



2. 内容

大学の後期の授業にあわせ、年に10回程度、大学生と年長児が鹿留こどもふれあいの森や楽山とソローの小屋を中心に遊びを展開しています。子ども自ら探索や斜面滑り、木登り、雪遊び、ソローの小屋でのまき割りや薪ストーブやたき火ブースで火を見る等好きな遊びを見つけ大学生との触れ合いを楽しみながら一緒に自然体験活動をしています。



3. 成果と課題

自然の中で様々な発見や、挑戦したりする経験は子ども達の日々の生活の中にもやってみようとする探求心が芽生えてきています。大学生とのふれあいの経験は社会性やコミュニケーション能力も育てています。大学生も回数が増えるごとに子どもの特性の理解が深まり、より仲良く交流が持っています。森の中での遊びはリスクがあるので、安全教育や対策に配慮していくことを課題として自然体験活動を続けていきたいと思っています。

